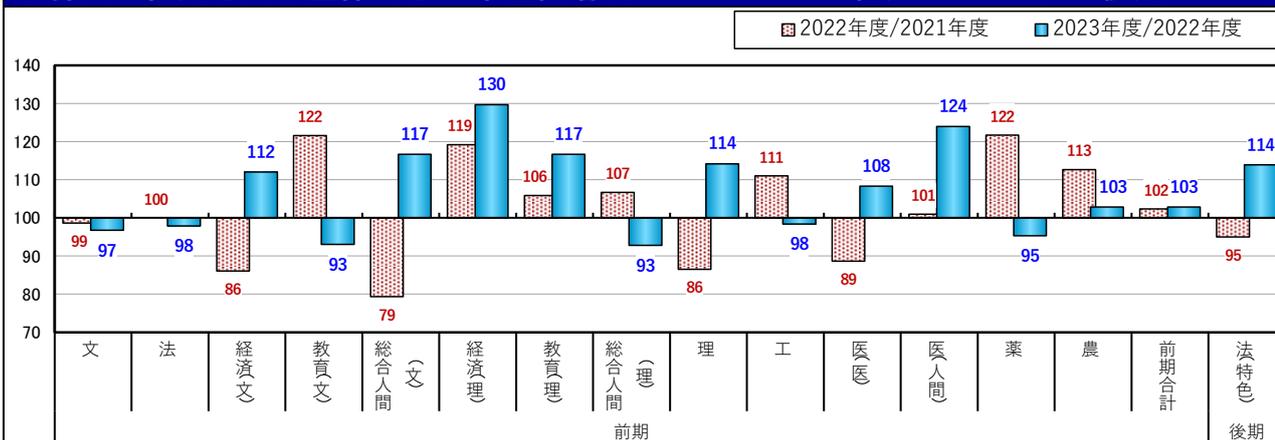


京都大：前期は大学全体では2年連続増加

前期：+207人 後期：+50人



COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は207人(103)のやや増加で2年連続増加。文理別では、文系は40人(102)の微増で5年ぶりの増加、理系は167人(103)のやや増加で2年連続増加。特色入試として実施の法のみ募集の後期は50人(114)の増加で、2018年度以降は前年度の反動による増減が継続。

<前期日程>

- 文(97)は、系統への低い人気からやや減少で4年連続減少。
- 法(98)は、微減。志願者数は募集人員が300人になった2016年度以降で初めて700人を下回った。
- 経済は、(文系)(112)で、系統への高い人気と2年連続減少の反動で増加、志願者数は2年ぶりに500人を上回った。(理系)(130)は、系統への高い人気から2年連続大幅増加、志願者数は6年ぶりに150人を上回った。
- 教育は、(文系)(93)は2年連続増加の反動でやや減少。一方で、(理系)(117)は大幅増加で2年連続増加。
- 総合人間は、(文系)(117)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方で、(理系)(93)は前年度やや増加の反動でやや減少。
- 理(114)は、前年度14%減少の反動で増加。
- 工(98)は、前年度増加の反動は小さく、微減に留まった。学科別では、系統への人気が高い工業化(90)は減少で9年連続減少、電気電子工(91)は前年度大幅増加の反動で減少。一方で、地球工(107)はやや増加で2年連続増加、志願者数は8年ぶりに400人を上回った。これらを除く3学科はいずれも前年度並。
- 医(医)(108)は、前年度減少の反動で増加したが、志願者数は5年連続300人を下回った。
- 医(人間健康科学)(124)は、大幅増加で2年連続増加。志願者数は6年ぶりに250人を上回った。
- 薬(95)は、2年連続増加の反動は小さく、やや減少。
- 農(103)は、やや増加で2年連続増加。志願者数は2年連続700人を上回った。
- 志願倍率の基準による第1段階選抜は、総合人間(文系)、総合人間(理系)、教育(理系)、経済(理系)で実施され、それぞれの合格率は96.9%、96.9%、83.3%、79.1%だった。4募集単位では経済(理系)が最も厳しかった。

<特色入試> ※〔 〕内は前年度数値

- 後期募集の法を除くと、募集人員152人〔145人〕に対して、志願者数は486人〔494人〕、合格者数は113人〔95人〕。志願倍率は3.2倍〔3.4倍〕で0.2ポイントダウンした。過去2年間と同様に、コロナ禍によって志願者数が減少。
- 学部・学科・コース・入試方式別の合格者数は以下のとおり。
 - 文…9人〔9人〕、経済…15人〔15人〕、教育…1人〔5人〕、総合人間…4人〔5人〕
 - 理…12人〔10人〕(数理学入試6人〔4人〕、生物科学入試6人〔6人〕)
 - 工(建築)…2人〔1人〕、(工業化)…13人〔3人〕、(情報)…2人〔2人〕、(電気電子工)…4人〔4人〕、(物理工)…5人〔5人〕、(地球工)…4人〔1人〕
 - 医(医)…2人〔1人〕、(人間健康科学/先端看護科学)…16人〔15人〕、(人間健康科学/先端リハビリテーション科学-理学療法)…5人〔4人〕、(人間健康科学/先端リハビリテーション科学-作業療法)…3人〔3人〕
 - 薬(薬科学)…3人〔1人〕、(薬)…1人〔1人〕
 - 農(食料・環境経済)…3人〔2人〕、(資源生物科学)…0人〔1人〕、(応用生命科学)…2人〔1人〕、(地域環境工)…1人〔3人〕、(森林科学)…6人〔3人〕、(食品生物科学)…0人〔0人〕